

序

「富山大学杉谷（医薬系）キャンパス研究活動一覧」は、本学杉谷キャンパスの医学部・薬学部・和漢医薬学総合研究所・附属病院に所属する教員・研究者・学生等が行った研究成果を取りまとめた業績集であります。富山医科薬科大学時代からの伝統と特色を引き継ぎ、今回で第38輯となりました。本誌には、各部局・講座別に、著書、論文（原著・症例報告・総説）および学会発表など、2014年の杉谷キャンパスにおける研究成果が網羅されています。全ての業績は、研究者それぞれの研究活動に加え、学内外関係者の協力・支援により生み出されたものであり、本学における貴重な「知の財産」であります。

ご存知のように、大学や研究機関における研究成果のオープンアクセス化が推進され、また最近になって研究データ等のオープン化であるオープンサイエンスも推進されています。これらの公開された研究成果が、新たな研究や成果につながることを期待されています。1976年の成果を収めた第1輯からとぎれることなく毎年発行されている本業績集は、富山大学杉谷キャンパスにおける研究成果への最良のナビゲーターの一つでもあり、学内外の研究活動の発展に大きく貢献しているものと自負しております。また、この業績集自体も第1輯から本輯まで、本学の学術情報リポジトリ（Torepo）により、オープンアクセス資料としてインターネットで世界中に公開されております。

このようなオープン化された時代だからこそ、研究者には、より高いレベルでの科学的思考と技術力、そして既存の概念を越える発想と創造力、困難に挑戦する忍耐力・人間力が求められています。しかし一方で、経済的・時間的制約や、新たな倫理面への対応等、本邦における研究現場の環境は年々厳しさを増していることも事実です。本誌で報告されている業績は、このような厳しい環境を乗り越え生み出された本学医薬系メンバーの努力の結晶であり、関係各位の努力と成果に心よりの敬意を表します。また研究遂行において、学外の皆様からも多大なご支援を頂いていることを改めて感謝致します。富山大学全学の立場からも、医薬学系研究の発展・拡大は重要課題であり、本学発展の核をなすものと認識しています。

今回の業績集の成果に学内外の皆様が目を通していただくことで、学内研究者および学外産学官の皆様がさらに理解・連携を深め、その力を融合した新たなイノベーションを創出・発展させていただくことを切に願っております。

最後に、本学で研究活動を行っておられる皆様、ならびに学内外関係者の皆様の益々のご活躍とご発展を祈念いたします。また本誌の刊行にご尽力された編集委員・関係各位に厚く御礼を申し上げます。

学 長 遠 藤 俊 郎

Endo Shunro